

■菅原源八 篤農家。独学でさまざまな教養を身につけ、隠居許可後、次々著作して実践、近郊の人々から敬愛された。

すがわらげんばち

オラソ^ラ 正月・ 1794＝

陸奥国秋田の新関村で、名の知れた家柄の篤農家の子に生まれる。

厳しく躰られて育ち、

アメリカ船来航始1803＝ 9歳：

菩提寺の住職らに諸学を学ぶ一方、家風にのっとり、花道・茶道・書道・俳諧・算術など多方面にわたり、それぞれの師について身につけて行く。

高田屋拿捕・ 1812＝18歳：

黒住教・・・ 1814＝20歳：家督を相続して、新関村長名役になり、

水野忠成老中1818＝24歳：

蝦夷地直轄終1821＝27歳：

日本外史・・・ 1827＝33歳：上方方面へ旅し、伊勢・高野山・四国などを回る。

シボ^ルト追放・ 1829＝35歳：*この頃、農業指導に当たっていた藩士と耕作の方法について話し合い、机上の空論と論破、

富籤流行・・・ 1830＝36歳：

天保大飢饉始1833＝39歳：_天保の大飢饉が起こると、私財を投げ打って、窮民の救済に奔走し、藩財政にも協力して、名字帯刀を許され、藩主佐竹家紋入り袴を下賜されるが、録については返上するなど、奢ることは無く、

大塩平八郎乱1837＝43歳：「家訓積善秘録」を著わす。

蚕社の獄・・・ 1839＝45歳：

順天堂始・・・ 1843＝49歳：新関村長名役から本村大久保村の肝煎役となり、

阿部正弘首座1845＝51歳：

孝明天皇・・・ 1846＝52歳：_村境界のもめ事裁定のため城下に出た帰途、落馬して重傷を負ったため、

・・・・・・ 1848＝54歳：

北斎没・・・ 1849＝55歳：「家訓積善秘録」を「子孫盛衰鑑」と改題。

_たびたび、子を名代に肝煎役引退を藩郡奉行に願い出るも、人徳を惜しまれて、その都度却下され、

ペリー来航・ 1853＝59歳：

松下村塾・・・ 1856＝62歳：*ようやく引退を許されると、近くの村に隠居所をつくって、晴耕雨読の生活に入る。

蕃書調所・・・ 1857＝63歳：

農耕を続け、簡単な診療をしたり、子どもらに読み書きを教えながら、執筆に精を出し、

桜田門外変・ 1860＝66歳：

生麦事件・・・ 1862＝68歳：この年、疫病の大流行で、身内からも4人の死者を出す。*この年まで、引退後の日常を「日ぐらし草紙」に書き留める。以後、

「老の僻言集」。以降2年、「放言雑記」。

薩長同盟・・・ 1866＝72歳：「木魂集」。

明治維新・・・ 1868＝74歳：

戊辰戦争終・ 1869＝75歳：翌年にかけて「枯尾花集」。

初の日刊新聞1870＝76歳：「不知己漫語」。徳を慕う門弟らが筆塚を建立し、事績が記される。

廃藩置県・・・ 1871＝77歳：「子孫盛衰鑑」に跋と系譜を追加。「自演自笑編」、

学問のすすめ1872＝78歳：「草庵漫筆」「改政珍事記」、

明治6年政変 1873＝79歳：「御代の春風」「出任せ草紙」、

佐賀の乱・・・ 1874＝80歳：「自由自在鍵」「舌戦世態物語」「無尽雑話誌」「老衰の悔言」「歳暮浮遊誌」、

初の民間工場1875＝81歳：老衰に及び、隠居所を引揚げ自宅に戻るもなお、「題名不詳」「陰陽曆譬言」「老衰卑言」、

三つの内乱・ 1876＝82歳：「世上見分誌」「徒々扱々草紙」「徒然遺忘物語」、

西南戦争・・・ 1877＝83歳：「遁世独面白」「独楽雑談集」、

大久保暗殺・ 1878＝84歳：「独遊漫語の端書」「徒然日暮草紙」と、_集中的に執筆し、

沖縄県編入・ 1879＝85歳：新関村の自宅で、_没した。

「人づくり風土記(秋田)」、